

堂々、日本語でスピーチ

袋井でコンテスト 蔣さん(中国)が優勝

袋井市在住・在勤・在学の外国人を対象とした「第三回日本語スピーチコンテスト」が十八日、同市の法多山尊永寺であった。インドネシアや中国、ブラジルなど五カ国の中学生から主婦まで九人が参加し、約百二十人が耳を傾けた。



流ちょうな日本語スピーチで優勝した蔣海陽さん。袋井市の法多山尊永寺で

マに日本語でスピーチし、発音や内容、パフォーマンスなどを鈴木典夫教育長ら四人の審査員が採点した。審査の結果、「日本の暮らして気づいたこと」の題で話した蔣海陽さんが優勝した。審査員が採点した。審査の結果、「日本の暮らして気づいたこと」の題で話した蔣海陽さんが優勝した。

岡理工科大留學生の蔣海陽さん(中国)が優勝した。蔣さんは日本の街中のごみ箱の少なさや、中国の偽札識別器の普及などを例に、日中両国の生活習慣の違いなどを指摘。互いが理解し合うよう努力

する大切さを訴えた。このほかロカ・ニトさん(ペルー)が準優勝し、レーダン・カイン・ニヤトさん(ベトナム)がグットきたで賞を受賞した。

(土屋祐二)